

佐伯市歌

うつく  
「美しいのは ~ 佐伯讃歌 ~ 」

さいきさんか

作詞・作曲 伊勢正三

さくら はな う なが  
桜の花を浮かべて流る  
かわ みどり かぜ ふ まち  
川のほとり緑の風が吹く町  
うつく  
美しいのはここにあるもの  
か  
変わらないもの

しお かお あさひ なか  
潮の香りと朝日の中で  
ひと きれい ひとみ  
人はこんな綺麗な瞳になれる  
うつく  
美しいのはこの青い海  
か  
変わらないとき  
時

もり ことば たいせつ  
森の言葉を大切にして  
ゆめ ま こ く  
夢ではなくホタルが舞い込む暮らし  
うつく  
美しいのは水の生命と  
とも  
共にあるもの

むかしあまべ なごり  
昔海部の名残をのせて  
しず ゆうひ は しるやま みち  
沈む夕陽に映える城山の道  
うつく  
美しいのはここにあるもの  
か  
ゆるぎないもの 変わらないもの